

## 新しい飛行経路案に関する検討経緯

- 2022年9月 第12回関西3空港懇談会で、関西空港の容量拡張について
- ・2030年代前半を目途に年間発着回数30万回の実現
  - ・2025年万博までに1時間あたりの処理能力を概ね60回に引き上げること
- を目指すこととした。
- 2023年6月 関空の将来需要へ対応するため、地元（関西3空港懇談会）からの要請に応じて、国が新しい飛行経路案を提示
- 2023年8月 新経路案に関し、環境面での影響などを客観的・科学的見地から検証するとともに、改善策の提案等をまとめるため、大阪府・兵庫県・和歌山県が共同で、環境検証委員会※を設置
- ※騒音、交通工学、地域経済などを専門とする有識者6名で構成

### 環境検証委員会での検討経緯

- 2023年8月 第1回委員会
- ・騒音予測の前提条件等を議論
- 2023年11月 第2回委員会
- ・関空協から書面による意見聴取（別紙①）
  - ・騒音予測結果（暫定案）の公表
  - ➡最も厳しいケースでも全ての陸域で「環境基準未満」を確認
- 2023年11月～2024年1月 現地調査
- ・委員長以下が、淡路島、岬町等を現地視察し、首長と意見交換
- 2024年1月 第3回委員会
- ・「中間とりまとめ」の公表（別紙②）
  - ➡騒音予測の修正を行うとともに、改善提案等をまとめる
- 2024年2月 環境検証委員会の提案を踏まえ、地域（関西3空港懇談会）から国へ改善要請
- 2024年3月 地域の要請に対し、**国の回答（別紙③）**